

製品名: PI 3-キナーゼ p101 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16097**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	100kDa

抗原情報

遺伝子名	PIK3R5 PIK3R5; Phosphoinositide 3-kinase regulatory subunit 5; PI3-kinase regulatory subunit 5;
別名	PI3-kinase p101 subunit; Phosphatidylinositol 4; 5-bisphosphate 3-kinase regulatory subunit; PtdIns-3-kinase regulatory subunit; Protein FOAP-2; PtdIns-
遺伝子 ID	23533.0
SwissProt ID	Q8WYR1
免疫原	抗血清はヒト PIK3R5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 695-744

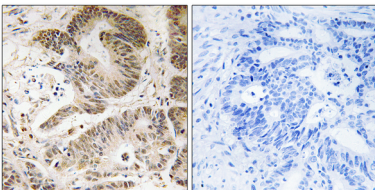
背景

ホスファチジルイノシトール3キナーゼ (PI3K) は、ホスファチジルイノシトールのイノシトール環の3'位をリン酸化することで、細胞の成長、増殖、分化、運動、生存、細胞内輸送に重要な役割を果たします。PI3KはクラスI、II、IIIの3つに分類され、クラスI PI3Kのみが腫瘍形成に関与しています。この遺伝子は、クラスI PI3K ガンマ複合体の101 kD 調節サブユニットをコードしています。この複合体は、110 kDの触媒サブユニットガンマと、55、87、または101 kDの調節サブユニットからなる二量体酵素です。このタンパク質は、G-β-γタンパク質との高親和性相互作用を介して、触媒サブユニットを細胞質から細胞膜へリクルートします。2つの異なるアイソフォームをコードする、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2011年10月],ドメイン: ヘテロ二量体化領域は触媒サブユニットへの結合を可能にする。、酵素調節: G ガンマタンパク質によって大きく活性化される。、機能: PI3K ガンマ複合体の調節サブユニット。、サブユニット: 触媒サブユニット (PIK3CG/p120) と調節サブユニット (PIK3R5a/p101) のヘテロ二量体。G ベータガンマタンパク質と相互作用する。、組織特異性: 白血球、次いで脾臓、リンパ節、胸腺、骨髄で高発現する。、

研究分野

ErbB_HER;ケモカイン;ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系;mTOR;アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;VEGF;接着斑;Toll様;Jak_STAT;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害;T細胞受容体;B細胞抗原;FcイプシロンRI;FcガンマRを介した貪食;白血球の内皮透過移動;神経栄養因子;アクチンと細胞骨格の調節;インスリン受容体;プロゲステロンを介した卵母細胞成熟;2型糖尿病;アルドステロンを介したナトリウム再吸収;がんの経路;大腸がん;腎細胞がん;膵臓がん;子宮内膜がん;神経膠腫;前立腺がん;黒色腫;慢性骨髄性白血病;急性骨髄性白血病;小細胞肺がん;非小細胞肺がん;

画像データ



PIK3R5抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。